

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年4月12日 (2012.4.12)

【公開番号】特開2010-239287(P2010-239287A)

【公開日】平成22年10月21日 (2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2009-83231(P2009-83231)

【国際特許分類】

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

H 0 4 L 25/49 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 5/02

G 0 6 K 17/00 F

G 0 6 K 19/00 H

H 0 4 L 25/49 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月29日 (2012.2.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

かかる構成によれば、検出部はそれぞれ異なる変調方式で変調され、所定の符号化方式で符号化された複数の信号に対して符号誤りを検出し、計測部は前記検出部で符号誤りが検出されてから前記複数の信号に含まれる所定のデータを最初に検出するまでの期間において複数の信号で発生した所定の周期以下での信号変動の回数を複数の信号毎に計測する。そして、選択部は計測部の計測結果に基づいて前記複数の信号の中から 1 の信号を選択する。その結果、かかる演算回路は、符号誤りが検出されてから前記複数の信号に含まれる所定のデータを最初に検出するまでの期間で信号品質を判定し、判定結果に基づいて信号を選択することで、構成を複雑にせず通信可能な検波系統の選択を可能にし、かつ、遠距離で S / N 比が低下する状態でも通信可能な検波系統を正しく選択することができる。

。